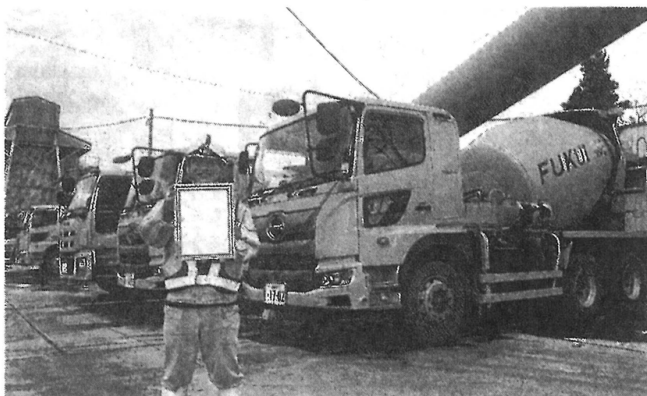


# 高強度コンクリート80Nを取得

## 福井宇部生コンクリートが国交大臣認定



認定証を掲げ、喜びを表す石隅工場長

福井県初 **高さ100m超の建築物にも供給可能**

**高層マンション等で実績を重ね**

福井宇部生コンクリート（福井市上森田南谷哲彦代表取締役）はこのほど、国土交通

省の大臣認定である「高強度コンクリート80N」を取得した。

単独で取得可能なうち、もっとも高いレベル。福井県内では取得第1号。北陸地区においても、3番目の早や。

水準は、生コン工場が認定番号は、MCON

- 取得メリット
- 建築物の超高層化を可能にする
  - 躯体部分に高強度コンクリートを使うことで、柱や梁を細くしたり、柱間の間隔を長くし、間取りの自由度が高まる
  - コンクリートの組織が緻密となり、耐久性に優れ、長寿命化を図る
  - 地震時の揺れに対する安全性を高めるとともに、風による揺れを小さくすることができる

超高層建築物にも、コンクリートが使用可能となった今認定。中心的に携わった同社の石隅久裕工場長（40）は、取得に際して「建築物の高層化を目指す設計者や、施工者のニーズなどに、これまで以上に応えていきたい

新しい価値創造へ」と力強く、抱負を話した。同社では、今後も、技術力を最大限に生かし、差別化を図っていく考え。産学官の共同研究などを展開し、新しい価値を創造へ。建築物を通して、提供していきたいとしている。

## 技術力で差別化

新しい価値創造へ

14285。同社は、09年に60Nまでの高強度コンクリートの大臣認定を取得。県内の高層マンションなどで供給実績を重ねてきた。今回の80Nにより、高さ100m超の超高層建築物にも供給が可能となった。技術士

（建設部門）や、コンクリート診断士などの有資格者数が全国トップクラスを誇る同社。製品の差別化が難しいとされる生コン製造業において、ますます技術力で勝負を。建築設計士や、施主に対してもアピールしたい考え。